

彼方「かなた」

校長通信
H24.10.11
Vol.24

【聴衆に感動を】



本当に素晴らしい演奏でした。1学期の校内合唱コンクールでもスゴイと思いましたが、昨日の市内音楽発表会での本校の吹奏楽や特設合唱団の演奏を聴いていてジーンときました。学校にいるみんなにも聴かせてあげたいと強く思いました。

午前中の取りを務めた我が吹奏楽部の「じゅげむ」の演奏が始まると会場の視線がステージに集まり、二曲目の「微笑みの国」の演奏では、完全に引き込まれました。会場に迫力のある音楽が響き渡りました。曲が終わり



演奏が終わるといろいろな先生方に声をかけて頂きました。「すごいですね!」「久しぶりにジーンと来ました」「どこの学校?」「こんないい演奏して!」等々。講師、来賓控室でも湖北中の演奏の話題で



と直ぐに大きな拍手がわき起こりました。「ブラボー!」の大きなかけ声とスタンディングオベーションで賞賛してあげたくなる圧巻のエンディングでした。

午後の特設合唱団の演奏も本当に素晴らしいものでした。最初に私も大好きな「YELL」をしつとりと聴かせ、二曲目は講師の作曲家黒沢先生の曲「早春の風」をアカペラで歌い上げ、最後は「河口」でした。「フィナーレを」何だか半年先の卒業式をイメージさせるような構成でした。



後ろ向きでごめんなさい!
い! (右下:遠藤先生、左下:寺島先生!)で

今日の子供たちの姿も本校が目指している「自主貢献」を具現化した姿だと思いい、一人ではつくりきれませんでした。ありがとうございました。吹奏楽部のみなさん、特設合唱団のみなさん。そしてご指導して頂いた遠藤先生、寺島先生には、改めて心から感謝です!



被災された方々に元気を与えたのは、地元の高校や中学校の吹奏楽部の演奏だったそうです。今日は、小中学生の一生懸命な演奏を聴けて本当に幸せな一日になりました。元気をもらいました。

3. 11の時も感じましたが、「音楽って、歌って、本当にいいもんだな!」ということです。

持ちきりだったそうです。うれしい評価を沢山いただきました。本当に元気をもらいました。